

液晶絵画 STILL/MOTION 出品作品リスト

作家名	作品名	制作年 year	上映時間 time	所蔵
千住博	水の森	2008	2'00"	作家
鷹野隆大	電動ぱらぱら2002/2008(上半身)	2002/2008	5-10'	作家
鷹野隆大	電動ぱらぱら 2008(下半身)	2008	5-10'	作家
鷹野隆大	電動ぱらぱら 2008	2008	5-10'	作家
森村泰昌	フェルメール研究(動く絵画)	2005	3'00"	作家
森村泰昌	フェルメール研究(大きな物語は、小さな部屋の片隅に現れる)	2004	-	国立国際美術館
森村泰昌	フェルメール研究(黄色い服の少女・誰もいない部屋)	2005	-	国立国際美術館
森村泰昌	フェルメール研究(3人の位置)	2005	-	国立国際美術館
森村泰昌	フェルメール研究(振り向く絵画)	2008	4'12"	作家
森村泰昌	フェルメール研究(振り向く鏡)	2008	-	作家
やなぎみわ	Fortune-telling	2005	14'28"	作家
小島千雪	リズムカルム、砂の陸	2007	11'32"	作家
ミロスワフ・パウカ	BlueGasEyes	2004	3'37"	作家
ミロスワフ・パウカ	壁	2006	4'12"	作家
ドミニク・レイマン	平和の挨拶を交わしなさい	2006	1'30"	作家
ドミニク・レイマン	Yo Lo Vi	2006	-	作家
ジュリアン・オピー	イヴニング・ドレスの女	2005	-	国立国際美術館
ジュリアン・オピー	ファイルを持つヒロフミ	2005	-	国立国際美術館
ジュリアン・オピー	車を走らせるにつれ寒さがやわらいで来た。道に沿って狭くて早い溪流が続き、水の流れは黒い石のつらなる川底を流れ落ちながら傾きかけた陽射しのもとでその表面を鈍く光らせた。ヘアピンカーブの坂を10分ほど下った後、道はゆるやかに、まっすぐと谷間に向かっていった。高い山々の中の荒れた道をたどった後のふもとの鮮やかな緑の風景に心が思わずほっとした。	2005	-	個人蔵
ジュリアン・オピー	ペンダントをつけたキエラ	2006	-	SCAIザ・バスハウス
ジュリアン・オピー	これまでのところは天気にはとても恵まれていた。誰もがこの時期こんなに暖かく晴れの日が続くのはとてもめずらしい、と口にしていた。ところが今、細やかながら絶え間のない雨が降り続けている。雲は低く垂れ込め、なかなか動く様子はない。急いでフェリーをつかまえなければと思いながら、道路がものすごく空いていたので湖畔に見つけたボートハウスに立ち寄ってみることにした。そこで私は湿った草に足を滑らせ、ビデオカメラと三脚を持ったまま転んでしまった。	2005	-	個人蔵
ジュリアン・オピー	ハンナ、学生	2006	-	個人蔵
ブライアン・イーノ	サーズデイ・アフタヌーン	1984	82'00"	作家
ブライアン・イーノ	ミステイクン・メモリーズ・オヴ・ミディーヴァル・マンハッタン	1980/81/87	47'00"	作家
サム・テイラー=ウッド	スティル・ライフ	2001	3'44"	作家
サム・テイラー=ウッド	リトル・デス	2002	9'30"	作家
サム・テイラー=ウッド	ピエタ	2001	1'57"	作家
ビル・ヴィオラ	プールの反映	1977-79	7'00"	作家
楊福東(ヤン・フードン)	雀村往東	2007	各 20'50"	作家
邱黯雄(チウ・アンション)	新山海経2	2007	29'00"	作家
イヴ・サスマン	浮上するフェルガス	2006	20'00"	作家